



# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655



<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

## 明けましておめでとうございます

～ 一所懸命に努力する ～

2022カタール W 杯では主審候補36人に史上初の女性審判3人が選ばれていました。そのうちの一人は、日本人の山下良美さん。山下さんの言葉を紹介します。

「選手が男か女か関係ない。目の前にあるのは同じサッカーだから。願うのはただ一つ。ピッチ上で選手たちが輝くような試合を、ともに作りたい・・・」

W 杯で山下さんは第4の審判としてデビューを果たしました。その姿は清々しく堂々としていました。

山下さんに関する記事によると、「もっともっと審判としてうまくなりたい」ただそれだけの思いで努力を重ねたそうです。

自分の職業に誇りと責任感を持ち、また、向上心をもって努力している姿は本当にすてきです。これからも応援したくなります。

さて、各ご家庭でも、新年の目標を話し合ったことと思います。子どもたちが、今を楽しみながら、夢に向かってがんばれるよう見守っていきましょう。

## 1 月 行 事 予 定

|                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1日 元日                          | 19日 書初大会(1, 3, 5年)             |
| 7日 始業式(放送)                     | 20日 仏教朝礼(録画)                   |
| 9日 祝 成人の日                      | 21日 中学部第1回入試                   |
| 10日 短縮日課<br>委員会(5, 6年)<br>職員研修 | 児童自宅学習<br>アンサンブルコンテスト<br>(合唱部) |
| 13日 仏教朝礼(録画)                   | 24日 職員会議                       |
| 14日 休業日                        | 26日 授業研究会(国語)                  |
| 15～24日 私立小学校造形展                | 27日 仏教朝礼(録画)                   |
| 16日 朝会(放送)                     | 31日 クラブ                        |
| 17日 クラブ<br>書初大会(2, 4, 6年)      | 29日 休業日                        |



2023年1月号

## スキー学校

5年生が12月21日から2泊3日のスキー学校に出かけました。スキーの技術の習得、雪山の体験、宿泊を通して協力することが目的です。5年生にとっては初めての宿泊学習。準備の段階から楽しそうに活動していました。

現地では7グループに分かれ、それぞれインストラクターと教員がついて練習しました。1日半の練習時間でしたが、それぞれ上達したようです。また、皆で泊まる経験をとおして仲間意識も今まで以上に強くなったように感じます。笑顔いっぱい3日間でした。



## 笑う門には福来たる



笑顔の效能をご存じですか。「笑いは心と脳の処方せん」には以下のようなことが挙げられています。

- 人間関係をスムーズにする。
- 免疫機能を高める。
- スマイルパワーが長生きにつながる。
- 運動能力を高める。等々

笑うことで健康になって、頭脳明晰になって、意欲的に物事に取り組めて、周囲も幸せな気分になれるなら、ちょっとがんばって笑顔で過ごしてみませんか。今年はこれまで以上に和やかな笑顔が増えることを願っています。

## 今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」  
「寒さに負けずに、元気に遊びましょう」

## 焼 香

お焼香は、宗派によってさまざまな方法があります。お焼香をする回数もさまざまですが、浄土真宗本願寺派では、次のように行います。

- ① ご本尊の阿弥陀如来に向かって一礼する。
- ② お香を一回だけつまんで香炉にくべる。
- ③ 合掌し「南無阿弥陀仏」と称え、礼拝する。
- ④ 二、三步下がって、一礼して退出する。



浄土真宗では、お香を額のあたりに持ち上げて、押しただくことはしません。押しただくという行為は、私が「心をこめる」「功德を与える」という意味があります。

しかし、親鸞聖人がいわれているように、私たちには清らかな心もなく、偽りやへつらうばかりで、真の心はありません。本当に心をこめることや、功德を与えることは非常に難しいことです。したがって、浄土真宗では押しただかずにお焼香をします。

お焼香をすることは、私たちすべてのものを平等に包み込む香りの中に、阿弥陀如来からの慈悲のはたらきを感じるということなのです



## ステキ みつけた!

本校はとてもきれいです。先日、学校の清掃等を担っている学校用務員の方から次のようなお話がありました。

「1年生から『いつもお掃除していただいてありがとうございます』と言われて嬉しかったです。小学部がきれいなのは子どもたちも一生懸命掃除しているからですね。」

このお話を聞いて、私も嬉しい気持ちになりました。感謝の気持ちを素直に伝えられる、このような気持ちを持ち続けて成長して欲しいです。